

日本福祉大学での出来事

NFU NEWS 2017

TOPICS 1 日本福祉大学 社会福祉学部開設60周年記念事業

社会福祉学部開設60周年を記念し、これまで積み重ねてきた伝統を広く学外へと発信するとともに、多様な専門領域で活躍する同窓生と学生・教員等との交流を目的として、さまざまな記念事業が開催されました。

シンポジウム

日本福祉大学の学びと地域福祉の展開

2017年9月30日(土)、美浜キャンパス12号館にて、社会福祉学部・大学同窓会・社会福祉協議会職員同窓会の共催で開催した本シンポジウムは、全国から80名を超える卒業生および社協関係者が参加しました。当日は、野口定久教授の

記念講演に加え、さまざまな地域の社協職員を迎えたシンポジウムや、現役社会福祉学部生と卒業生・社協関係者が交流を深めるワークショップが開催されました。



各地の社協職員が自身の仕事と、本学での学びについて語ったシンポジウム

交流会

MSW交流会

今、あらためて問う『医療ソーシャルワーク』

2017年11月4日(土)、美浜キャンパス12号館にて、MSW(医療ソーシャルワーカー)の交流会を開催し、多くの同窓生が参加しました。開学以降、国内最多のMSWを輩出してきた本学。当日は、愛知県、静岡県、三重県で活躍する

ソーシャルワーカーをシンポジストに迎え、保健医療現場で求められる「ソーシャルワーク」について熱い議論を交わしました。また、情報交換会では同窓生と在学生在がこれからの医療福祉について話し合いました。



グループに分かれて交流を深めた情報交換会

PSW交流会

伝統の継承と今後の発展

2017年11月4日(土)、美浜キャンパス12号館にてPSW(精神保健福祉士)の交流会が行われ、多くの同窓生が参加しました。当日は見玉学長によるあいさつにはじまり、龍谷大学の荒田寛氏による「創造の担い手としてのPSW」と題した基調

講演、京ヶ峰岡田病院の竹中秀彦氏、駒木野病院の山口多希代氏らを迎えたシンポジウム、PSWを志す在校生と同窓生の交流会などが開催され、PSWとしての姿勢と志を共有する機会となりました。



同窓生と未来のPSWの交流会

シンポジウム

『子どもの貧困』実践・研究のこれまでとこれから

児童福祉法が制定されて約70年。2016年の改正により、子どもは児童福祉の「対象」から「権利主体」へと大転換した一方で、子どもが生まれ育つ環境は厳しく、子育てが難しい社会となっています。その課題である「子どもの貧困」について考える機会として、2017年12月16日(土)、美浜キャンパス12号館にて社会福祉学部の教員が子ども・家庭福祉分野での実践を報告する場が設けられました。基調講演とシンポジウムのほか、「子どもの未来をつくるために」と題したワークショップも実施し、参加者一体となって今後の対策などについて話し合いました。



全国こども福祉センター理事長で本学卒業生の荒井和樹氏を招いたシンポジウム



さまざまな意見が飛び交ったワークショップ

TOPICS 2 日本福祉大学減災連携・支援機構 開設記念講演会

日本福祉大学は2017年4月に日本福祉大学減災連携・支援機構(機構長:原田正樹学長補佐・社会福祉学部教授)を開設しました。そして2017年10月19日(木)、その開設を記念した講演会「その時に備えて私たちに何ができるのか!~実践知に学ぶ減災と連携~」を美浜キャンパス文化ホールで開催し、行政や社会福祉協議会関係者をはじめ、教職員や学生、地域の方々から約200人が参加しました。



減災という身近なテーマに熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

TOPICS 3 東海キャンパスに「日本語教育センター」開設

2017年8月、東海キャンパスに「日本福祉大学日本語教育センター」が誕生しました。同センターは日本福祉大学への留学を希望している方や、知多半島をはじめ大学周辺地域で日本語習得を必要としている方のために質の高い日本語教育を提供することを目的とし、あらゆる活動を行っていきます。



日本語教育センターの主な活動

- 外国人留学生への日本語・日本文化教育の充実**
日本語習得のための日本語教育プランの作成や、大学での学習・研究への相談に対応するなど、さまざまな角度から支援します。
- 日本語教員を志す学生への教育支援**
国際福祉開発学部が開講する「日本語教員養成プログラム」について、カリキュラム編成や日本語教育実習先の整備などを支援します。
- 国際化する地域と連携した日本語・日本文化教育の展開**
外国人看護師・介護福祉士候補者に日本語・日本文化講習会を開講したり、外国とつながる児童の日本語習得を支援します。
- グローバル社会に求められる実践的な外国語教育の実施**
日本語教育が主たる目的ですが、就学時において外国語、特に英語力を身につける学習や、地元事業者(企業・福祉現場)のニーズに対応した語学講習会等の開講にも対応します。

TOPICS 4 2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち強化指定選手に選出

愛知県は、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、愛知県に関わりのある選手を、強化指定選手として261人を発表し、本学の学生が4名、卒業生が2名選出されました。この取り組みは、オリンピックおよびパラリンピック実施競技の日本代表レベルにある選手を競技団体の推薦をもとに、「強化指定選手」に認定して競技力強化を図るものです。

あいち強化指定選手(オリンピック)	トライアスロン	松居 智咲さん(看護学部1年)
あいち強化指定選手(パラリンピック)	車椅子バスケット	熊谷 悟さん(健康科学部3年) 大島 美香さん(卒業生)
ボッチャ	松永 楓さん(社会福祉学部4年)	
水泳	後藤 陸斗さん(経済学部2年)	車椅子テニス
		水越 晴也さん(卒業生)

※学生の学部・学年は2017年7月時点のものです。